

公益財団法人ジェスク音楽文化振興会

平成 25 年度(2013 年度)事業計画

公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 事業一覧

- 公益目的事業 1 音楽会と講習会を含む総合的な音楽祭を主催する事業
- 公益目的事業 2 音楽会を企画制作する事業
- 公益目的事業 3 講習会を企画制作する事業
- 公益目的事業 4 演奏家を育成し、活動を助成、マネージメントする事業
- 公益目的事業 5 世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版する事業

当財団の平成 24 年度（2012 年度）は、前年度が東日本大震災の影響を大きく受けたのに対し、一旦中止・縮小された事業の再開に加え、新しいプロジェクトの追加もあり、近年の中でも特に多くの事業を実施した年度となりました。

来る平成 25 年度は、平成 24 年度から継続して行う事業に加え、新しい事業も予定しております。

～平成 25 年度の主な新規事業～

- ・ **霧島国際音楽祭 東京公演**（東京での開催は 14 年ぶり。なお霧島国際音楽祭は公益目的事業 1 ですが、東京公演は別公演となるため公益目的事業 2 となります。）
- ・ **霧島国際音楽祭 海外公演の準備・調整**（平成 26 年（2014 年）の実施を検討中の海外公演実施に向けた準備）
- ・ **仙台国際音楽コンクール審査委員によるマスタークラス**

その一方で、平成 25 年度は開催されない事業もあり、また平成 24 年度に始まった「国際音楽祭 NIPPON」は、平成 25 年は小規模での開催となることもあり、全体としては事業の数も少なく、予算も小規模の年度となります。

～平成 25 年度には実施されない事業～

- ・ **東京都文化発信プロジェクトの各事業**
- ・ **庄司紗矢香&ジャンルカ・カシオーリ ヴァイオリン・リサイタル・ツアー**
- ・ **浜松ピアノコンクール優勝者コンサート**

平成 25 年予定の事業の一覧および事業数は 2 ページ、各事業についての説明は 3 ページ以降をご参照ください。

前年度との公演の比較

	平成 24 年度(2012 年度)	平成 25 年度(2013 年度)	開催時期
公1	第 33 回霧島国際音楽祭	第 34 回霧島国際音楽祭	7/17～8/4
公2	霧島市民音楽祭	霧島市民音楽祭	7/15
	みやまふれあいコンサート	みやまふれあいコンサート ほか	7/18～7/25
	霧島国際音楽祭	霧島国際音楽祭 東京公演	8/6
	県外展開の準備・調整	霧島国際音楽祭 海外公演の準備・調整	通年
	第7回仙台クラシック・フェスティバル(せんくら)2012	第 8 回仙台クラシック・フェスティバル(せんくら)2013	10/4～10/6
	東京都文化発信プロジェクト スーパーコーラス		
	庄司紗矢香&ジャンルカ・カシオーリ ヴァイオリン・リサイタル・ツアー2012		
	ル・ポン 2012 赤穂・姫路国際音楽祭	ル・ポン 2013 赤穂・姫路国際音楽祭	10 月上旬・中旬
	第 8 回浜松ピアノコンクール 優勝者コンサート		
	第 11 回みやざき ザハール・ブロン音楽祭	第 12 回みやざき ザハール・ブロン音楽祭	12 月
国際音楽祭 NIPPON	第 2 回 国際音楽祭 NIPPON	3/6～3/14	
公3	仙台国際音楽コンクール 審査委員によるマスタークラス(準備)	仙台国際音楽コンクール 審査委員によるマスタークラス	5/28、29 6/19、20
	芸術家への道	芸術家への道	8/5～8/8
	東京都文化発信プロジェクト マスタークラス		
	第 17 回浜松国際ピアノアカデミー	第 18 回浜松国際ピアノアカデミー	3/7～3/16
	第 9 回クールシュヴェール 国際音楽アカデミー in かさま	第 10 回かさま国際音楽アカデミー (旧クールシュヴェール)	3/21～3/30
公4	ザハール・ブロン (桐朋ストリングス・セミナー)	ザハール・ブロン (桐朋ストリングス・セミナー)	12 月来日
	四方恭子	四方恭子	通年
	田中雅弘	田中雅弘	通年
	横川晴児	横川晴児	通年
	イリーナ・メジューエワ	イリーナ・メジューエワ	通年
	中園理沙	中園理沙	通年
	弓新		
	楠尚子(リサイタル開催協力)		
公5	楽譜出版事業	楽譜出版事業	通年

事業数の推移

公1	1 公演	1 公演
公2	10 公演	8 公演
公3	5 公演	4 公演
公4	8 公演	6 公演
公5	1 公演	1 公演
合計	25 公演	20 公演

公益目的事業1 音楽会と講習会を含む総合的な音楽祭を主催する事業

第34回霧島国際音楽祭

《概要》	主催： 鹿児島県、ジェスク音楽文化振興会、鹿児島県文化振興財団 日程： 2013年7月17日(水)～8月4日(日) 会場： 霧島市 みやまコンセール(霧島国際音楽ホール) ほか
《事業内容》	講習会(マスタークラス)： 9コース/13クラス 演奏会： 約50公演 (うち主な有料公演15公演。ほかアウトリーチ、ワークショップ、吹奏楽クリニック、ロビーコンサート、足湯コンサートなど約35公演を実施予定。) 講師・アーティスト： 約90人 受講生： 約160人

1980年に名誉音楽監督 G. ボッセ氏(2012年2月1日にご逝去)を中心に立ち上げられた音楽祭。当初、任意の民間団体が主催・運営していたが、1984年にジェスク音楽文化振興会が設立され、翌85年から主催に参加。現在では堤剛音楽監督のもと、鹿児島県の全面的なバックアップを得て、日本有数の歴史と内容を誇る音楽祭として、アジアを中心に年々受講生・観客も増加するなど注目を集めている。2009年の第30回からは、「世界への発信」、「地元密着」、「フェスティバル性」という3つのキーワードを柱に据え、さらなる芸術的発展、財政的成功を目指して開催されている。2013年には、当音楽祭を鹿児島県外に広く認知させるため、東京で公演を実施する。(公益目的事業2「東京公演」参照。)

1. 演奏会について

第33回の成功を引き継ぎ、以下のような公演を行う。

① みやまコンセールでの公演：

みやまコンセールでの最初のコンサート「スペシャル・ガラ・コンサート」は、ヴァイオリンの樫本大進氏が堤剛音楽監督、ヴィオラの川本嘉子氏とともにバッハ：ゴルトベルク変奏曲(弦楽三重奏版)を演奏。音楽祭の卒業生、受講生で躍進しているヴァイオリンの成田達輝氏、チェロの上村文乃氏も出演する。第31回より実施されて高評を得ている、音楽祭中盤の土日に開催される「音楽の散歩」シリーズは、演奏家による45分のプロデュース・コンサートのほか、「ピアノ!ピアノ!!ピアノ!!!」、「チェロ・オーケストラ」などを実施。これに先立つ7月24日(水)には、樫本氏によるプロデュース・コンサートも実現し、樫本氏が音楽祭のアーティストと初めて室内楽で共演する。このほか、例年同様、最終日の「ファイナル・コンサート」、受講生による「霧島国際音楽祭賞受賞者ガラ・コンサート」、「室内楽クラス・コンサート」などを実施する。

② 鹿児島市内での公演：

第33回に引き続き2公演を開催する「ザビエル教会コンサート」は、ソプラノのアンドレア・ロスト氏によるリサイタルと、ロスト氏と成田達輝氏をソリストに迎えてのバロック音楽の公演。鹿児島交響楽団メンバーによるアンサンブルが出演する。「宝山ホール公演」は、恒例の下野竜也氏指揮・キリシマ祝祭管弦楽団による公演。プログラムは生誕200年のワーグナー：ワルキューレ第1幕(演奏会形式)と、チクルス進行中のベートーヴェン：交響曲第1番。この公演が東京公演としても開催される。このほか、「鹿児島市民文化ホール公演」、音楽祭初日の「ふれあいコンサート in 県庁」を行う。

③ 霧島市内での公演(国分隼人地域への重点強化)：

霧島市民会館公演は、音楽祭初登場のMBCユースオーケストラによる本格的なオーケストラ公演。ソリストには同様に音楽祭初登場となるヴァイオリンの川久保賜紀氏を迎える。指揮は同オーケストラOBの海老原光氏。このほか、下野竜也氏による吹奏楽クリニックなどを行う。

④ その他の公演：

毎年好評の「霧島神宮かがり火コンサート」、アウトリーチとして「湧水町いきいきセンターくりの郷」、「アートのある森」、「鹿児島空港」などでのコンサート、下野竜也氏による「吹奏楽クリニック」、ワークショップなどを行う。

2. 講習会(マスタークラス)について

創設者ゲルハルト・ボッセ教授の理念「自立できる音楽家の養成」に従い、独奏、室内楽、オーケストラ演奏の体験と技術の習得はもとより講師・アーティストと受講生が一体となった全人格的な成長を目指すカリキュラムを組む。昨年初めて開催された指揮クラスは、引き続き実施される。受講生数は前回は157名であったのに対し、165名を目標に募集を行う。

●開設マスタークラス

コース	マスタークラス講師
ヴァイオリン (3クラス)	藤原 浜雄 (元読売日本交響楽団ソロ・コンサートマスター) フェデリコ・アゴスティーニ (元イ・ムジチコンマス、イーストマン音楽学校教授) ローター・シュトラウス (ベルリン国立歌劇場管第一コンサートマスター)
ヴィオラ	店村 眞積 (東京都交響楽団特任首席奏者)
チェロ	堤 剛 (当音楽祭音楽監督、桐朋学園大学特任教授)
フルート	エミリー・バイノン (ロイヤル・コンサートヘボウ管首席)
ピアノ (3クラス)	ダン・タイ・ソン (ショパン・コンクール優勝、モントリオール大学客員教授) 練木 繁夫 (インディアナ大学教授) 若林 顕 (エリザベート王妃国際コンクール第2位、桐朋学園大学院大学教授)
トランペット	高橋 敦 (東京都交響楽団首席、洗足学園大学准教授)
ホルン	西條 貴人 (東京都交響楽団首席、東京芸術大学講師)
室内楽	松原 勝也 (東京芸術大学教授) 田中 雅弘 (東京都交響楽団首席、第1回音楽祭受講生) ほか音楽祭アーティストがレッスンに参加
指揮	高関 健 (東京芸術大学招聘教授) 下野 竜也 (読売日本交響楽団正指揮者、上野学園大学教授)

各クラス10～15名程度。室内楽は団体での申し込みも可。

特 別 レッスン	松原勝也、田中雅弘	室内楽	希望者
	小森谷 巧	オーケストラ・スタディ	希望者 (ヴァイオリン)
	エミリー・バイノン	オーケストラ・スタディ	希望者 (フルート)
	高橋 敦	オーケストラ・スタディ	希望者 (トランペット)
	西條 貴人	オーケストラ・スタディ	希望者 (ホルン)

公益目的事業2 音楽会を企画制作する事業

霧島市民音楽祭

《概要》	主催：	霧島市民音楽祭実行委員会、霧島市教育委員会
	日程：	2013年7月15日(月・祝)
	会場：	みやまコンセール

霧島国際音楽祭の開催地である霧島市が中心となり、2008年より開催。市民が霧島国際音楽祭を身近に感じ、広く親しまれる音楽祭になることを目指す。また音楽を通じた交流と、市民の音楽文化の向上を図ることも目的とする。霧島市内学校の吹奏楽や合唱、市内一般演奏団体が出演し、霧島国際音楽祭のアーティストと共演。来る音楽祭に向けてのPRをする。

みやまふれあいコンサート / キャラバンコンサート / おとどけコンサート

《概要》	主催：	鹿児島県文化振興財団、各開催地主催者
	日程：	2013年7月18日(木)・19日(金)・24日(水)・25日(木)
	会場：	鹿児島県内各地ホール、施設

みやまコンセールが、鹿児島県内各地の主催者と共催し、各地の音楽普及に貢献するために実施している事業。例年、霧島国際音楽祭の出演者が演奏会を行うほか、学校や施設での普及活動も行う。公演の日程は以下の通り。

ふれあいコンサート in おきえらぶ	7月18日(木)19:00～	和泊町民体育館(沖永良部島)
キャラバンコンサート in 曾於市	7月19日(金)19:00～	末吉学園(曾於市)
おとどけコンサート in 長島町	7月24日(水)19:00～	長島町文化ホール
おとどけコンサート in いちき串木野	7月25日(木)19:00～	いちき串木野市市民文化センター

第34回霧島国際音楽祭 東京公演 キリシマ祝祭管弦楽団

《概要》	主催：	鹿児島県、ジェスク音楽文化振興会、鹿児島県文化振興財団
	日程：	2013年8月6日(火)
	会場：	東京オペラシティ コンサートホール

霧島国際音楽祭を鹿児島県外に広く認知させるために、東京で公演を行う。プログラムは生誕200年のワーグナー：ワルキューレ第1幕 演奏会形式(原語上演・日本語字幕付き)と、チクルス進行中のベートーヴェン：交響曲第1番。出演は下野竜也氏指揮によるキリシマ祝祭管弦楽団に、ソリストとしてマリインスキー劇場のソリストを招く。同音楽祭の東京での公演は14年ぶり。

霧島国際音楽祭 海外公演の準備・調整

2013年に霧島国際音楽祭の東京公演を行うのに引き続き、鹿児島県では2014年度に海外公演の実施を検討している。当財団では、鹿児島県からの委託を受け、この公演の実施に向けた準備・調整を行っていく。

第8回 仙台クラシック・フェスティバル（せんくら）2013

《概要》	主催:	仙台市、仙台市市民文化事業団
	日程:	2013年10月4日(金)～10月6日(日)
	会場:	仙台市青年文化センター、イズミティ 21 ほか

仙台クラシックフェスティバル（せんくら）は仙台市の新しい取組みとして2006年より始まり、昨年2009年からは実行委員会を主体とした運営に変わった。その際に仙台市市民文化事業団より当財団への依頼があり、第4回から企画・制作として当財団が関わることとなった。

朝から晩まで複数会場で同時並行的に45分間（2会場のみ60分）のコンサートが3日間繰り広げられる。演奏者は地元仙台フィルのほか、旬の若手やビッグネームがずらりと並び、入場料が1コマ ¥1,000～2,000円の低料金で気軽にクラシックの名曲を楽しむというコンセプト。

第8回は鮫島有美子、小山実稚恵、舘野泉、小川典子、前橋汀子、川島成道、及川浩治、堀米ゆず子、横山幸雄、林美智子、三船優子、川久保賜紀、長谷川陽子、福田進一、シエナ・ウィンド・オーケストラ他を予定している。

ル・ポン2013 赤穂国際音楽祭・姫路国際音楽祭

《概要》	主催:	赤穂国際音楽祭実行委員会、姫路国際音楽祭実行委員会
	日程:	2013年10月上旬～中旬
	会場:	赤穂市文化会館、パルナソスホール ほか

ベルリン・フィルハーモニー第1コンサートマスターの榎本大進氏を音楽監督とし、ゆかりのある兵庫県赤穂市で2007年に第1回を開催。以後、姫路市と隔年で開催されてきた。昨年初めて両市の共催で開催され、引き続き両市の共催で開催される。榎本氏と親交のある実力派の演奏家を招き、室内楽を中心としたプログラムで公演を行う。このうちいくつかの公演は、城跡、寺などの観光史跡で開催される。

第12回みやざきザハール・ブロン音楽祭

《概要》	主催:	宮崎文化振興協会、みやざきザハール・ブロン音楽祭実行委員会
	日程:	2013年12月
	会場:	宮崎市民プラザ ほか

宮崎出身の作曲家、故寺原伸夫氏と親交のあったヴァイオリン教授のザハール・ブロン氏が宮崎で行なってきた公演を発展させ、2002年より「みやざきザハール・ブロン音楽祭」として開催。ブロン氏による演奏会、小中学生への普及企画、公開レッスンなどから構成される。演奏会にはブロン氏の門下生も出演予定。

第2回 国際音楽祭NIPPON 芸術監督 諏訪内晶子

《概要》	主催:	国際音楽祭NIPPON 実行委員会、ジェスク音楽文化振興会
	特別協賛:	トヨタグループ3社（豊田自動織機/ トヨタ自動車/ 豊田通商）
	日程:	2014年3月6日(木)～3月14日(金)
	会場:	仙台市青年文化センター ほか

ヴァイオリニスト・諏訪内晶子氏が芸術監督を務める「国際音楽祭NIPPON」の第2回を行う。継続的に2年に1度で大規模開催を目指しており、第2回目となる今回は、小規模の公演・マスタークラスを行う。場所は仙台と名古屋を予定している。前回と同様、復興支援としてチャリティーも引き続き行うほか、仙台フィルハーモニー管弦楽団との共演も予定している。

公益目的事業3 講習会を企画制作する事業

第5回仙台国際音楽コンクール関連事業 審査委員によるマスタークラス

《概要》	主催：	仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、 仙台市市民文化事業団
	日程：	2013年5月28日(火)・29日(水)ヴァイオリン部門 2013年6月19日(水)・20日(木)ピアノ部門
	会場：	仙台市青年文化センター

将来、仙台国際音楽コンクールに出場するような音楽家を育成することを目的とした、コンクール審査委員によるマスタークラス。第4回コンクールで初めて開催され、今回で2回目となる。当財団は今回初めて制作業務を受託した。なお当事業は平成24年度より準備業務を開始しており、2年度にわたる事業となる。

ヴァイオリン部門講師

フェリックス・アーヨ（スペイン／イタリア）、ピエール・アモイヤル（フランス）、
シュミュエル・アシュケナージ（アメリカ）、チャーリヤン・リン（アメリカ）、
スヴェトリン・ルセフ（ブルガリア／フランス）、ミヒヤエル・ヴァイマン（イスラエル）

ピアノ部門講師

ベルント・ゲツケ（ドイツ）、ブルーノ・カニーノ（イタリア）、
ヨヘヴェド・カプリンスキー（アメリカ）、セシル・ウセー（フランス）、
エヴァ・ポブウォッカ（ポーランド）、スタファン・シェーヤ（スウェーデン）
シン・スジョン（韓国）、エリソ・ヴィルサラゼ（ロシア）

芸術家への道

《概要》	主催：	鹿児島県（実施主体：鹿児島県文化振興財団 みやまコンセール）
	日程：	2013年8月5日(月)～8月8日(木)
	会場：	みやまコンセール

霧島国際音楽祭の受講生の国際化と水準が高まる中、音楽祭の主催の一つである鹿児島県からの要望で鹿児島の音楽文化の将来を担う人材育成のために実施する事業。例年2クラス開講されるが、当年度は東京公演実施に伴う日程の都合によりレベルを分けた2つのピアノクラスを実施する。講師は、霧島国際音楽祭の講師・アーティストの中から、上級クラスを練木繁夫氏、子供向けのクラスを小森谷裕子氏が担当する。

第18回浜松国際ピアノアカデミー

《概要》	主催：	浜松市、浜松市教育委員会、浜松市文化振興財団
	日程：	2014年3月7日(金)～3月16日(日)
	会場：	浜松市アクトシティ音楽院 ほか

中村絢子音楽監督のもと、若き精鋭が集う国内屈指のアカデミー。世界に通用するコンサートピアニストの育成を目的としたカリキュラムを展開。近年は、教授陣4名、受講生24名規模での開催となっている。教授陣による公開レッスン、レクチャーコンサートシリーズ、受講生達が実際の国際コンクールの環境を実体験できるアカデミーコンクールなども行う。

第10回かさま国際音楽アカデミー

《概 要》 主 催： かさま国際音楽アカデミー実行委員会
日 程： 2014年3月21日(金)～3月30日(日)
会 場： 茨城県教育研修センター、笠間市笠間公民館 ほか

フランスのリゾート地クールシュヴェールで毎夏開催される「クールシュヴェール夏季国際音楽アカデミー」の日本版として、2005年から茨城県の笠間市で開催。本国アカデミーの開催地移転による名称変更を機会に、より地域に密着したアカデミーとしての開催を目指すために、今回より名称を変更することになった。

桐朋学園大学教授 辰巳明子音楽監督のもと、ザハール・ブロン氏（ヴァイオリン）を始めとする国内外の教授を招聘。10歳から大学生まで幅広い年齢層の将来を担う逸材が多数参加する。

公益目的事業4 演奏家を育成し、活動を助成、マネージメントする事業

優れた演奏家の育成に努め、その活動を助成する目的により、当財団の趣旨に賛同する演奏家のマネージメント業務を実施し、才能のある若手演奏家のため、リサイタルやオーケストラとの共演の場を設ける。

なおイリーナ・メジューエワは3月末日を持って所属から外れる予定だが、当年度中に実施が決まっている公演のみ、継続してマネージメントする。

所属演奏家 (2013年3月26日現在)

ザハール・ブロン [ヴァイオリン]

* ケルン音楽大学 チューリッヒ音楽院教授

四方 恭子 [ヴァイオリン]

* 元ケルン放響第一コンミス、兵庫芸術文化センター管弦楽団コンミス、
東京都交響楽団ソロ・コンミス

田中 雅弘 [チェロ]

* 東京都交響楽団首席奏者、霧島国際音楽祭講師

横川 晴児 [クラリネット]

* 元NHK交響楽団首席奏者

イリーナ・メジューエワ [ピアノ]

* ロシアのゴーリキー (現ニジニー・ノヴゴロド) 生まれ。日本在住。

中園 理沙 [ピアノ]

* エレーナ・リヒテル国際ピアノコンクール第1位。

公益目的事業5 世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版する事業

世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版、頒布する。現在の主な刊行物は下記の通り。

ショパン／パデレフスキ版

I. プレリユード、II. エチュード、III. バラード、IV. 即興曲、V. スケルツォ、VI. ソナタ、VII. ノクターン、VIII. ポロネーズ、IX. ワルツ、X. マズルカ、XI. 幻想曲・子守歌・舟歌、XIII. 演奏会用アレグロ変奏曲、XIV. ピアノ協奏曲、XVIII. 小品集

ドヴォルジャーク

「スラヴ舞曲集作品 46 (連弾)」、「スラヴ舞曲集作品 72 (連弾)」、
「スラヴ舞曲集作品 46 (スコア)」、「スラヴ舞曲集作品 72 (スコア)」、
「交響曲第 8 番作品 88」、「交響曲第 9 番作品 95」、「チェロ協奏曲作品 104」

ザハール・ブロン編集・解説

「エチュードの技法」、「ヴュータン：ヴァイオリン協奏曲 第 5 番」

子供のためのピアノ曲集・ねこシリーズ

ガルシチャ「ピアノのための小品集」、「わたしと一緒に弾きましょう」
フンジャク「サーカス」
リビツキ「わたしは弾きはじめる」 他

ルー・ハリソン著 「ワールド・ミュージック入門」

平成 25 年度の資金調達及び設備投資について

当期中の資金調達及び設備投資の見込みは下記のとおりである。

当期中における借入れの予定	なし
当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定	なし